

フードテック官民協議会第4回提案・報告会 議事概要

日時：令和4年3月11日（金）13時30分～15時30分

出席者：食品企業、ベンチャー企業、研究機関、関係省庁等関係者（169名）

議事：（1）フードテックに関する政府の取組について

（2）WT・CCの活動報告

（2050年の食卓の姿 WT、新興技術ガバナンス WT、Plant Based Food 普及推進 WT、スマート育種産業化 WT、昆虫ビジネス研究開発 WT、細胞農業 WT、ヘルス・フードテック WT、サーキュラーフード推進 WT、細胞農業 CC、FOOD TECH Lab CC）

（3）有識者講演

「ゲノム編集技術をめぐる動向とコミュニケーション活動」

農研機構 企画戦略本部 新技術対策課 ELSI チーム長

高原 学 氏

「個別栄養最適化技術で実現するヘルス・フードテック」

信州大学 学術研究院（農学系）准教授 中村 浩蔵 氏

■議事（1）について

農林水産省新事業・食品産業部及び水産庁から資料に沿って説明。

水産庁は質疑に答え、海洋国家及び大陸国家における養殖のそれぞれの特徴や、飼料の低魚粉化に向けた取組、日本の戦略的養殖品目について説明した。

■議事（2）について

各 WT・CC 事務局から、第3回提案・報告会以降の進捗状況等を資料に沿って説明。

■議事（3）について

各講師から資料に沿って説明。

信州大学 中村氏は質疑に答え、個別栄養最適化食のアルゴリズム、若い世代に対するヘルス・フードテックの訴求点、生体データの取得頻度について説明した。

以上